

第 55 回インナーゼミナール大会

研究計画書

ゼミ名	高ゼミ	チーム名	凱旋門賞
タイトル	Google の成長と今後の展望		
テーマ群	e) 産業・企業		
メンバー	宮副吏功、松本侑磨、清崎叶羽、澤野光希、鈴木友都		
研究計画内容	【研究背景】 近年、身近にある様々なものがデジタル化されている。それに合わせ、Google,Apple,Facebook(Meta),Amazon の 4 大企業（通称 GAFA）が勢力を伸ばしてきた。その中で、Google 社はソフトウェアとハードウェアという双方の面において業績を伸ばしてきている。さらに昨今、多くの企業が AI 事業に名乗りを上げており、Google も“Gemini”という独自の AI 技術を開発した。そこで私たちは過去の Google の動向と、そして現在進行形で注力している事業を分析することで、今後 Google 社はどのような事業で業績を上げていくのかを分析する。研究目的は、多くの人に Google の概要や事業、AI について理解してもらうことにある。 【研究内容】 Google の事業動向を把握したうえで、おもに Google の推進するエコシステムという取り組みと AI 技術の導入について、競合他社との比較や特性を調べ、同時に過去の売り上げの推移から各事業の実績についても分析していく。また分析の結果によっては、また分析の結果によっては、Google の主力となる事業の展望についても記していく予定である。 【期待される効果】 私たちが日常的に使用しているシステムや、最近では身近なものになった AI 技術について興味をもってもらえるようなきっかけをつくる。競合他社との比較により、各企業の特徴の理解の手助けとなる。 【参考文献】 https://ximix.niandc.co.jp/column/business-ecosystem-development-google-cloud		